

子どもたちに海外への興味を持たせよう！

～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～

永月 明子

(15-1, パラグアイ, 音楽, 城山町立川尻小学校)

1, はじめに

みなさん、パラグアイという国がどこにあるか知っていますか。南米の真ん中、アルゼンチンと、ブラジル、ボリビアに囲まれた海のない内陸国です。(図1) 私はそこで1年9ヶ月間音楽教師として、地元の幼稚園から教員養成校までの子どもたちを教えてきました。

2005年3月にパラグアイから戻ってきて、この経験を日本でどう生かそうかと色々考えてきました。日々の学校生活の中で、なかなか時間をとることができませんし、子どもたちの実態により内容も考えなければいけません。そうすると紹介できないまま時間が過ぎていきます。だから、堅く考えずに、ちょっとした時間に気楽に楽しく紹介をしようと思いました。

国際理解の第一歩はまず「知る」ことです。それも楽しくです。道ばたの草でも草の名前を知ると親しみがわくように、いろいろな国を知ることによって親しみがわき、それにより、「仲良くしたい」「日本を紹介したい」「助け合いたい」という気持ちが育っていくと思います。

だから、私はどんな機会でも「パラグアイっていう国があるんだ、なんだかおもしろい」という気持ちをまず持ってもらえるように子どもたちや先生方にパラグアイを紹介したいと思います。



写真1 町の様子 (のんびり、ゆったり)



写真2 マテ茶セット (テレレ)

図1 南米の真ん中、アルゼンチンとブラジル、ボリビアに囲まれた内陸国

2, パラグアイってこんな国

さてパラグアイは、だいたい暑い国です。夏は北部では40度を超えます。南半球にあるので、12月が真夏で、7月には何日か冬になります。北風が吹くとすごく暑いのが不思議

議です。(日本と南北の感覚が逆になるので) 冬はかなり寒く、2度にまでなることもあります。寒暖の差が激しくて、真冬でも昼には20度ぐらいになったりしてTシャツで過ごす人もいます。

道ばたには牛や馬、にわとりがのんびりしています。(写真1) 人々ものんびりしています。

パラグアイ人に欠かせないのがマテ茶というお茶です。写真2のコップにお茶の葉をたくさん入れて、茶こし付きストローのようなものをさして飲みます。一人が飲み終わったらまた同じ入れ物にお湯を注ぎ次の人に回します。こうやって5, 6人が家の前の道にイスを出して、おしゃべりをしながら1時間も2時間もお茶を飲むのです。



写真3 貧富の差が激しい



写真4 牛肉が安い。(1kg 180円ぐらい)



写真5 市場(何でもある。少し治安が悪い)

貧富の差が激しくて、首都ではベンツに携帯を持っている人もいますが、一方田舎では、窓がなく土の床の家で裸足でぼろぼろの服で生活している人もいます。(写真3)でも、果物(バナナやマンゴー、パパイヤ)が道ばたの木になっている国なので飢えて死ぬ人は少ないそうです。

パラグアイでよく食べられているのは牛肉です。(写真4) 写真の包丁で切っているお肉で2キロぐらいでしょうか。日曜やパーティなどで家族みんなでアサードという焼き肉をします。少し堅いのもありますがおいしいです。

首都には大きな市場があります。(写真5) 少し東南アジアのような雰囲気ですね。何でも安くそろいます。左に写っているバナナは一房30円ぐらいです。少し治安が悪いので、カメラを出したり、財布や携帯電話を出したりするときは気をつけましょう。

3, 派遣経験を生かして

そんな経験を以下のように紹介してきました。

(1) 担任を持つ4年生に対して

①日頃の朝や帰りの挨拶を各国語で(日直と何語にするか相談する)

	おはよう	さようなら
英語	グッド モーニング	グッバイ、シーユー
スペイン語	ブエノス ディアス	アディオス、チャウ

イタリア語	ボン ジョルノ	アッリデベルチ、チャオ
ドイツ語	グーテン モルゲン	アウフビーダーゼン
フランス語	ボン ジュール	オッルボワー
中国語	ニイハオ	サイチェーン
ロシア語	ズドラーストビーチェ	ダスビダーニャ
グアラニー語	ンバエイシャパ	ジャジョエシャペベ

②授業の中での紹介（旗のクイズ、ニャンドウティドレス、パラグアイハーブ体験）・

1 時間

旗のクイズとは・・・

パラグアイの旗は世界で唯一の裏表のある旗です。
（図2）裏にはある動物がかかれています。さて何
でしょう。

- 1, ライオン
- 2, ワシ
- 3, ねずみ

（答えは次のページ 図3）



図2 パラグアイの旗（表）

③運動会でパラグアイ人、ドミニカ共和国の人（JICA 研修員） を紹介

日本の文化にふれる機会として運動会に招待しました。大きなパラグアイ人と肌の黒いドミニカ共和国の人に子どもたちは興味津々で取り囲み、「おはよう」、「さようなら」と早速スペイン語で挨拶していました。手がとても大きかったので手と手を合わせて大きさにびっくりしていました。パラグアイ人とドミニカ共和国人の二人も「とても素晴らしい経験ができてうれしい」と話していました。

④町の音楽祭りでの企画（総合を利用して「南米スペシャル」を展開）・35時間 「南米スペシャル」

- 曲目・1 「メロディアス デ アメリカ」4年全（108名）国旗や国の名物などを調べて作ったプラカードを上げながら歌う（写真7、8）
- 2 「花祭り（ボリビア）」1組（35名）ボリビアの楽器を使って（写真6）
- 3 「パラグアイのクリスマス」2組（36名）
- 4 「コンドルは飛んでいく（ペルー）」3組（37名）
- 5 「ラバンバ（メキシコ）」4年全（108名）スペイン語で、振り付けもつけて



写真6 「花祭り」(ボリビア)を演奏
左端がボンボ、次がチャフチャフ、マ
トラカ(ボリビア隊員に借りました)



図3 旗のクイズの答え: 1 ライオン
ライオンは正義のシンボルです



写真7 国名を書いているところ



写真8 歌いながらプラカードをあげる練習。うまくできました。

以下は指導案です。たつごとは我が校の総合の名称です。

4年 たつご指導案 国際理解にふれる活動 2学期

1. 単元名 「南米スペシャル」

2. 単元の目標

- ・南米の国々の名前や国旗を知ることにより、南米の国々に興味を持つ。
- ・どこかで聞いたことのある南米の音楽を中心に知り、南米音楽の身近さを知る。
- ・協力し、楽しみながら一つのものを作り上げ、発表を通して他者に伝える喜びを知る。

3. 観点別評価の規準

- ・探求心(関心・意欲)・・・南米の音楽の中にはテレビなどで聞いたことのあるものも多いことを知り、それらの曲がどのような国のものか積極的に調べようとする。
- ・問題解決(問題解決力)・・・課題解決に向けて、家の人に聞いたり、図書室の本や、インターネットを使ったりして自分なりの方法で課題に取り組む。
- ・人との関わり(関わり力)・・・家の人に聞く活動や、友だち同士で協力しながら国のことを調べたり、音楽を作ったりする活動を通して人との関わり力の良さを知る。
- ・表現(表現力)・・・いろいろな楽器やその演奏の仕方、歌い方、動きなどを工夫して表現しようとする。

4. 指導計画（計 35 時間）

次	学習内容・指導（時間）	評価の観点	評価規準	評価の方法
みつめる 8	・南米の音楽について、子供たちが興味関心を持って本単元に取り組められるような話を聞く。（1） ・「メロディアス・デ・アメリカ」という曲を練習し、この曲を通して南米の国々の名前や国旗に興味を持つ。（7）	◎探求心 ・問題解決 ・人との関わり ・表現	・南米の身近な曲がどのような国のものか積極的に調べようとする。	・振り返りカード
もとめる 6	・南米の国々の名前や国旗を調べ、さらに表現したい国を決め、表現方法を考える。（例：旗作りなど）（6）	・探求心 ◎問題解決 ・人との関わり ・表現	・進んで表現したい国を決めて、楽しく調べている。	・白地図プリント
ふかめる 10	・ボリビアの楽器と音色、その音楽を聞き（1）さらに南米の音楽に興味を持ち、クラスごとにどのように各国の音楽を表現するか話し合う。（5） （ボリビア、パラグアイ、ペルーなど） ・学年としてのまとめるためのメキシコの曲「ラ・バンバ」を練習する。（5）	・探求心 ・問題解決 ◎人との関わり ◎表現	・進んで楽器にさわったり仲間と感想を言い合ったりしている。 ・仲間と協力して音楽を作ろうとしている。 ・話し合いや練習に意欲的に関わっている。	
うごきだす 11	・「南米スペシャル」という組曲として各国のつながぎの言葉を考え（1）、学年でまとめたひとつの作品に仕上げる。（5） ・音楽祭りで発表する。（4） ・自分たちの活動をまとめ、ふりかえる。（1）	・探求心 ・問題解決 ・人との関わり ◎表現	・楽しく堂々と表現しようとしている。	

（2）全校児童に対して

①朝会を利用してパラグアイの旗のクイズ、ニャンドウティドレス、ハープのクイズと紹介・20分

ハープのクイズとは・・・

パラグアイハープ（アルパ）の曲には自然を模したものが多いのですが、次の曲は何の

動物の鳴き声を表した曲でしょう。(写真9)

- 1, ピリリータの最初の部分を演奏する

答え: 鳥 (ピリリータという鳥の鳴き声を表している)

- 2, カスカーダの最初の部分

答え: 滝 (カスカーダはスペイン語で滝)

- 3, トレンレチェロの最初の部分

答え: 列車 (トレンレチェロは牛乳列車という意味)



写真9 ハープの演奏

(3) 教職員に対して

- ① 津久井郡小学校音楽部研究会においてパラグアイの教

育事情、スペイン語の簡単な挨拶、文化(食べ物、国民性等)、ハープ演奏と体験の講座を持つ・1時間半

- ② 職員研修会3回(配属校教員対象15分、湘北地区教員対象45分(写真10, 11)、神奈川県教員対象25分)でパラグアイの配属校の子どもたちと日本の教え子たちの「笑顔のために」のプロジェクトによる交流とパラグアイの教育事情、文化(食べ物、国民性など)、ハープを紹介



写真10 旗のクイズ(湘北地区研究会)



写真11 湘北地区教員研究会

4, まとめ

これから派遣される人たちへ

- ・ 写真よりビデオ(現地の授業の様子、祭りの様子など)、さらに実物。(ハープ、衣装、日本でパラグアイ人の友達を作って子どもたちに紹介するなど)

やはり子どもたち(大人でも)には100話をするより1見せ、ふれさせるのが一番です。

- ・ 衣装があるといい(ダンス、祭りの衣装など)お面やかぶり物も楽しい。

ニャンドウティドレスは高かったので(日本円で2万円)迷ったのですが買って良かったです。派手なぐらいでも楽しいです。任地にいる間も祭りの時など着て交流を図るといいと思います。

- ・ ダンスや現地の楽器、現地の料理などを習ってみては。

専門外でも、何かできると紹介しやすいです。料理の場合、日本で手に入る材料でできるかも重要になります。

- ・ 日本に帰ってから地域の国際行事にアンテナを張ろう。

地域の国際行事に目を向け、参加してみましょう。市役所、駅などの公共の建物に行事の宣伝があるときがあります。私はそれで J I C A の研修員（パラグアイ人、ドミニカ共和国人、ペルー人）と友達になり、そのつながりで創価大学の留学生（ボリビア人、キューバ人、イスラエル人、アメリカ人）とも友達になりました。

また、八王子市では通訳ボランティアを募集していたので登録しました。人の輪を広げることで、子どもたちにも紹介できる機会が増えるかもしれませんし、何より自分が楽しいです。

先生が生き生きと国際的な目を持って楽しんでいることが一番大切だと思っています。

派遣経験を生かした教育活動事例

子どもたちに海外への 興味を持たせよう！

～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～

15-1 パラグアイ・音楽

永月 明子

1. パラグアイってこんな国



2. 派遣経験を生かして

①担任を持つ4年生に対して

- 朝の挨拶、帰りの挨拶を各国語で
(英語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、グアラニー語)
- 授業中での紹介 (旗のクイズ、ニャンドウティドレス、パラグアイハーブ体験)
- 運動会でパラグアイ人、ドミニカ共和国の人 (JICA 研修員) を紹介
- 町の音楽祭りのための「南米スペシャル」を企画

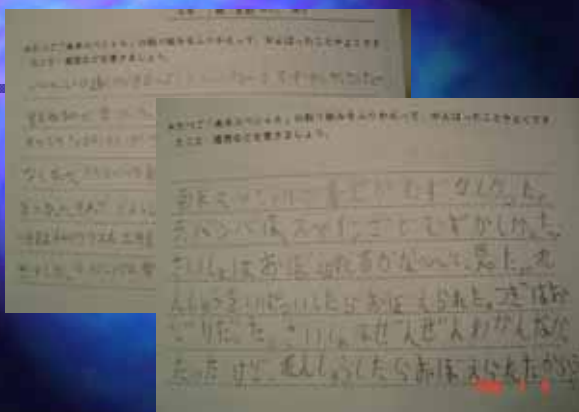
南米スペシャルの様子



メロディアス デ アメリカ



ラ バンバ

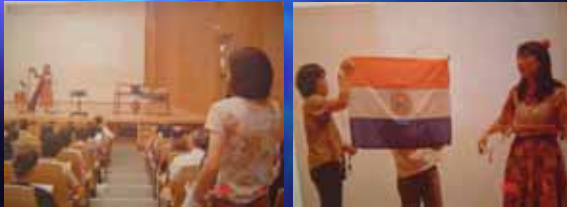


②全校児童に対して

- 朝会を利用して
(旗のクイズ、ニャンドウティドレス、ハーブのクイズ)

③教職員に対して

- 津久井郡小学校音楽研究会において
- 職員研修会3回



5. パラグアイハープの紹介



Adios! Hasta luego!

派遣経験を生かした教育活動事例

子どもたちに海外への興味を持たせよう！

～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～

15-1 パラグアイ・音楽 永月 明子

1, パラグアイってこんな国 (海外青年協力隊の音楽教師として1年9ヶ月間、赴任)



- ・気候（寒暖の差が激しい。平地。）
- ・町の様子（のんびり、ゆったり）

- ・貧富の差が激しい

- ・南米の真ん中、アルゼンチンとブラジル、ボリビアに囲まれた内陸国。



- ・牛肉が安い。（1kg180円ぐらい）
- ・市場（何でもある。少し治安が悪い）
- ・マテ茶セット（テレレ）

2, 派遣経験を生かして

①担任を持つ4年生に対して

- ・日頃の帰りの挨拶を各国語で（英語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、グアラニー語）
- ・授業の中での紹介（旗のクイズ、ニャンドウティドレス、パラグアイハーブ体験）・1時間
- ・運動会でパラグアイ人、ドミニカ共和国の人（JICA 研修員）を紹介
- ・町の音楽祭りでの企画（総合を利用して「南米スペシャル」を展開）・35時間



「花祭り」（ボリビア）を演奏

「南米スペシャル」

- 曲目・1 「メロディアス デ アメリカ」 4 年全（1 0 8 名）国旗や国の名物などを調べて作ったプラカードを上げながら歌う
- 2 「花祭り（ボリビア）」 1 組（3 5 名）ボリビアの楽器を使って
- 3 「パラグアイのクリスマス」 2 組（3 6 名）
- 4 「コンドルは飛んでいく（ペルー）」 3 組（3 7 名）
- 5 「ラ バンバ（メキシコ）」 4 年全（1 0 8 名）スペイン語で、振り付けもつけて

②全校児童に対して

- ・朝会を利用してパラグアイの旗のクイズ、ニャンドウティドレス、ハーブのクイズと紹介・2 0 分

③教職員に対して

- ・津久井郡小学校音楽部研究会においてパラグアイの教育事情、スペイン語の簡単な挨拶、文化（食べ物、国民性など）、ハーブ演奏と体験の講座を持つ・1 時間半
- ・職員研修会 3 回（配属校教員対象 1 5 分、湘北地区教員対象 4 5 分、神奈川県教員対象 2 5 分）でパラグアイの配属校の子どもたちと日本の教え子たちの「笑顔のために」のプロジェクトによる交流とパラグアイの教育事情、文化（食べ物、国民性など）、ハーブを紹介



湘北地区の教員対象の研修会

3, まとめ

- ・写真よりビデオ（現地の授業の様子、祭りの様子など）、さらに実物（ハーブ、衣装、日本でパラグアイ人の友達を作った子どもたちに紹介するなど）
- ・衣装があるといい（ダンス、祭りの衣装など）お面やかぶり物も楽しい
- ・ダンスや現地の楽器、現地の料理などを習ってみては
- ・日本に戻ってから地域の国際行事にアンテナを張ろう